



救命環境の充実で命を救う みきの救急

問 (市)消防署 救急救助課
☎89-0173



市内の救急出動回数は年間約4,000件。
これは1日に換算すると約11件になります。消防署では、時間との闘いになる救命の現場に備え、隊員の訓練に加えて、救命率を高めるための救命環境充実に日々取り組み、市民の安全を守っています。

1人でも多くの命を守るために

救急隊員は、通報から平均7～8分で現場に駆け付け、救急処置を行いながら患者を医療機関に搬送します。救命の現場では、救急車が到着するまでの処置が非常に重要となります。市民の皆様には、大切な命を救うために、救急車の適正利用にご理解と、ぜひ、救急手当の知識や技術を身に付けていただきたいと思います。みんなでより安全安心なまちを築いていきましょう。



救急救助課長
中井 雄大

救命に寄与する取り組みの一部を紹介します。

市内コンビニ28店舗にAED



AED(自動体外式除細動器)が夜間や休日でも利用できる環境を維持するため、県内でも珍しく、24時間営業のコンビニ全店舗にAEDを設置しています。

AEDには音声案内がついているため、初めての方でも使えます。市内のコンビニにAEDがあることを知り、いざという時は持ち出して使用してください。

ドクターヘリとの連携



市内には、ドクターヘリの着陸を行うランデブーポイント(場外離着陸場)が(市)消防本部を含め40カ所あります。心疾患、脳卒中などの急病時や重症交通外傷などの場合、消防本部の判断で要請します。

要請後、ドクターヘリは市内のランデブーポイントまで約10分で到着することができ、より迅速に医師による救急救命医療を受けることができます。

教室講座のページで救命講習を紹介しています。今月の情報は26ページに掲載

編集発行：
三木市総合政策部秘書広報課 ☎0794-82-2000(代)
〒673-0492 上の丸町10番30号
<https://www.city.miki.lg.jp/>

■広報みきは新聞折込(日刊紙)、宅配でお届けしています(点訳版・音訳版もあり)新聞未購読の方や点訳版・音訳版をご希望の方は(市)秘書広報課までご連絡ください。

■人口(6月末現在)
76,872 (一) 34
男: 37,258 (一) 13
女: 39,614 (一) 21
世帯数: 34,178 (+ 29)